

●学校経営の基本理念 ～自立と共生～

「だれもが笑顔になる学校」を目指し、

- 1 自ら課題を見つけ、論理的に解決する力を伸ばしていきます。
- 2 感性を働かせ、高めながら、創造する力を養います。
- 3 他者とのかかわりの中で、お互いを認め合い、助け合いながら、豊かな心情をはぐくみます。
- 4 家庭・地域とつながり、すすんで人とつながる喜びを感じさせます。
- 5 自ら体を整え、健全な生活を築き上げていく力を身に付けさせます。

■目指す学校像「だれもが笑顔になる学校」

- 1 児童一人一人が集団の中での自己有用感を感じ、自分のよさを発揮し、他者を尊重しながら共に生きる喜びを感じられる学校
(ひとりぼっちにしない教育)
- 2 保護者・地域との相互理解・協力を図り、学校の役割を果たし、信託に応える開かれた学校
(失敗を恐れずチャレンジする教育)
- 3 教職員が教育活動の充実のために指導力を研ぎ、お互いに学び合いながら協力して組織的に教育活動を展開できる学校
(ともに学びを創造する教育)

学校教育目標 (目指す児童像)

だれもが笑顔になる学校

自ら学び、表現する子

認め合い、協力して行動する子

すすんで体を整える子

何のために

課題解決

課題解決に向けて、主体的に学ぶ授業を実践する

創造・表現

豊かな感性を育て、創造的に表現できる活動を実践する

ふれあい

お互いを認め合い、助け合いながら豊かな心情をはぐくむ取組を実践する

つながり

家庭・地域とつながり、自分の故郷や国を愛する心を育てる取組を実践する

からだ

自ら体を整え、健全な生活を築こうとする活動を実践する

重点的に何をするか

- 基礎基本の徹底
 - ・少人数習熟度別指導
 - ・放課後・土曜補習教室
 - ・東京ベーシックを活用した朝学習の充実
 - ・家庭学習の工夫 (自主学習の強化)
- 思考力・判断力・表現力の充実
 - ・校内研修での追究
 - ・アクティブラーニング
 - ・問題解決学習の推進
 - ・読書活動の推進
- 個に応じた指導の充実
 - ・学習支援員の活用
 - ・個別指導計画に基づいた指導の充実

- 体験学習の充実
 - ・感動と成長のストーリーとしての学校行事
 - ・地域人材、地域企業等の活用
 - ・宿泊行事の充実
- 表現活動の充実
 - ・スピーチ活動
 - ・ディベート
 - ・音楽表現活動
 - ・造形表現活動
 - ・身体表現活動
- キャリア教育の推進
 - ・自己肯定感や関係性を高める活動
 - ・夢を見つける職業学習

- 道徳教育の推進
 - ・道徳的判断力・道徳的実践力をつける
 - ・道徳授業地区公開講座の内容の工夫
- 特別支援教育の充実
 - ・インクルーシブ教育の実践 (通常学級・そよかぜ・杉の子学級の相互理解教育・交流の推進)
 - ・ユニバーサルデザインの授業
- 異学年交流の充実
 - ・縦割り班活動
 - ・6年生による1年生応援隊
 - ・全校遠足

- 学校・家庭・地域の新たな関係の創造
 - ・学校地域連携本部の創設
- 就学前教育の推進
 - ・就学対策チームによる幼保との連携
- 小中一貫教育の推進
 - ・瑞雲中ブロック研究
- 国際理解教育の推進
 - ・英語教育等
 - ・(オリンピック、パラリンピック教育推進校)
 - ・(日本の伝統文化の良さを発信する能力・態度の育成事業)

- 体力の向上
 - ・コーディネーショントレーニングの導入
 - ・外遊びの充実
 - ・授業改善
 - ・体育朝会の充実
- 健康教育の充実
 - ・生活習慣の確立
 - ・食育の推進 (栄養・アレルギー)
 - ・歯科指導の推進
- 安全教育の推進
 - ・防災教育の推進
 - ・交通安全教育の強化
 - ・不審者対応訓練強化

■オープン化

- 経営方針・週案等の計画、実践の日常的な交流
- 児童・保護者、教職員相互の相談体制の充実(スクールカウンセラーの活用)
- 学校評議員会・第三者評価委員会・学校評価に基づく学校改善

■システム化

- 教育課題解決組織の活性化(チームつつじが丘小)
 - ・いじめ対策委員会
- 主幹・主任を機能させた問題解決と創造的実践の学校運営(プロジェクトチーム制)
- 人事考課制度を実効化した人材育成

■ネットワーク化

- 特別支援固定学級「杉の子」・特別支援教室「そよかぜ」・校内委員会を中核にした教育支援ネットワークの構築
- 関係諸機関との連携 (特別支援センター校・児童相談所・警察等)
- 各種便り・ホームページによる情報発信